

学校だより(いしがき)

第29号 令和4年2月10日
文責 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」
～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、2年生立志式、ふるさとの偉人(松尾 禎作 氏)、故事成語⑱「破天荒」、名言パート1(努力に関すること)、NPOとボランティアの違い、難解語句、2月中旬～4月の主な行事予定です。

○2年生立志式

2月18日(金)の5,6時間目に、本校2年生は**立志式**を行います。**立志式**とは、昔 十五歳前後に元服という大人になるための儀式が行われていたことから、本校でも中学2年生の立春の日前後に、**将来の決意や目標などを明確にすることで大人になるという自覚を深めるために実施**しています。

3学期始業式(リモート)講話の中でも紹介しましたが、幕末から明治期にかけて経済分野で近代日本の礎を築いた**渋沢 栄一氏**は、『夢七訓』の中で「人は夢がないと何も始まらない。その夢を具体化して理想となり、その夢や理想を持ち続ける意志の強さが信念となる。そして、一週間後、一ヶ月後、一年後の計画を立て、その計画に基づいて実行すれば、成果、結果が自ずと現れ、幸福を手にすることができる。」と唱えています。

みなさん一人ひとり、自分自身の夢をもち、志を立て、日々生活を送ってほしいと思います。**孔子(古代中国の思想家)**の『論語』の中に「吾、十有五にして学に志す」とあるように、中学2年生のみなさんは、自らの生き方を考える機会に是非してもらいたいと思います。



○ふるさとの偉人(松尾 禎作 氏)について (みやき町発行 みやき町偉人伝より)

ふるさと佐賀を知り、郷土に対する自信と誇りを持ってもらいたいという願いから、今回は、佐賀県の考古学の道を拓いた**松尾 禎作**(まつお ていさく)氏を紹介します。

皆さんは、中原小学校グラウンド西側の鉄棒の後ろ(うさぎ小屋の横)に石碑(右の写真)が建っているのを知っていますか?この石碑は**松尾 禎作先生頌徳(しょうとく)碑**といって、松尾禎作先生の功績をたたえて今から68年前の昭和29年(1954年)10月に建立されたものです。

松尾禎作先生は明治26(1893)年中原村綾部生まれで、尋常小学校や旧制中学校の教師として教壇に立つかわら、**九州北部の遺跡調査や郷土史研究を行いその保護や歴史教育の重要性を唱え、佐賀県考古学の道を拓いた人**です。

特に戦時中に目達原飛行場が造られる際に、**目達原古墳群**の重要性を県や国に訴えました。最終的には国防上やむを得ず飛行場建設が優先され重要な古墳群は壊されましたが、古墳群の事前調査と出土品保存が行われました。また、一部は縮小され復元された古墳もあります。戦前・戦中・戦後にわたり、史跡を調査・保存することの大切さと歴史教育の意義を訴え続けられました。終戦直後には中原村長も務めておられます。松尾先生の教えは、吉野ヶ里丘陵地(現在の吉野ヶ里遺跡)の重要性を唱えてこられた七田忠志先生をはじめ、多くの後輩たちに受け継がれています。松尾先生は昭和35(1960)年67歳でご逝去されました。



○故事成語⑱

破天荒(はてんこう)

※唐の時代…今から1300年ほど前

【意味】本来は、今までだれもできなかったようなことを、初めて成しとげること。平成20年文化庁の「国語に関する世論調査」では、64.2%が「豪快で大胆な様子」という意味にとらえているという結果が出ている。

【由来】「天荒(てんこう)」は未開の荒地の意味。唐(とう)の時代、荊州(けいしゅう)という地方からは役人の試験に合格した者はなかなかいなかったため、「天荒(てんこう)」と言われていました。だから、劉蛻(りゅうぜい)という人が初めて合格した時、天荒(てんこう)だった状態を破ったとしてほめたこと、この語ができました。(北夢瑣言 ほくぼうさげん / ほくむさげん)

○名言パート1（努力に関すること）

ある名言集を読んでいたら、なるほどと思える言葉がありましたので、紹介します。今回は、真面目に努力することの大切さを唱えた語句を紹介します。

- 【アルキメデス】** 何かができる環境にある人よりも、やる気がある人のほうが事を成就する
- 【竹内薫】** : 小さな仕事も丁寧にやると、やっぱり見てくれている人がいる。きちんとした仕事をすれば、次は少し大きな仕事がある
- 【アインシュタイン】** : 英知とは学校教育の産物ではなく、それを手に入れようと生涯をかけて努力することで生まれる
- 【本田圭佑】** : 努力が人よりも続けられる人は必ず成功する。そして努力の方法が分かっている人は大きく成功できる
- 【千代の富士】** : 今日いい稽古をしたからって明日強くなるわけじゃない。でも、その稽古は2年先、3年先に必ず報われる
- 【イチロー】** : 小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道

○NPOとボランティアの違い

NPO（非営利 団体）とは「Non-Profit Organization」あるいは「Not-for-Profit Organization」の略称であり、その名の通り非営利の（Non-Profit）組織（Organization）を表しています。

NPOは、市民を主体として市民の発意により活動する市民活動団体を指します。社会福祉法人や社団、財団生協、労働組合なども広い意味では**NPO**と言えます。

また収益を目的に事業を行うことは認められていますが、事業で得た収益に関しては、構成員で分配することはできないと定められています。例えば**NPO**で事業収入や寄付などの収入と、オフィスの家賃や電気代などの支出を差し引いた際に、利益が出た場合、株式会社であれば、利益は株主に分配されますが、**NPO**の場合は団体の寄付者に分配するようなことはできません。余った利益は事業に使用することになります。

NPO法は正式には「特定非営利活動促進法」と言いますが、その法律に基づいて法人格を取得した**NPO**が「特定非営利活動法人」、すなわち「**NPO法人**」と呼ばれています。

ボランティアも社会貢献のための活動ですが、個人の行為を指す言葉です。一般的に「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指し、無報酬であることが前提となっています。



○難解語句

リベラル : 個人の自由、個性を重んずるさま。自由主義的。保守は、旧来の風習・伝統を重んじ、それを保存しようとする。

フォッサマグナ : 日本列島がアジア大陸から離れる時にできた大地の裂け目で、**U字溝のような大きな溝**で、その西の端が糸魚川(いといがわ)ー静岡構造(こうぞう)線。その溝の大部分は、かつての海底にたまった新しい地層によって埋めつくされ、これらが隆起した後、富士山を含む南北方向の火山列ができている。

すみません : 「済みません」と漢字で表記し、「これでは気持ちが済みません」という意味もあり、「相手への謝罪の気持ちがおさまらない」「これでは心が晴れない」といった「申し訳なさ」を示す表現として使われるようになった。敬語表現は「申し訳ございません」

全然 : 「全然 + 否定」という形で使われるのが一般的。しかしながら、日本語の研究者たちの間では、「全然 + 否定」だけが正しいとするのではなく、「もともと『すべて』『すっかり』の意で肯定表現にも用いられていた」と辞書にも追記されるようになった。「全然大丈夫」という言葉もありえる。

ありがとう : 「めったにないこと」有り難しがウ音便化したもので、めったに起こらない貴重な出来事への感謝の言葉になり、近世以降、一般的なお礼の言葉として使われるようになった。

○2月中旬～4月の行事予定

- ・2年生立志式 ※授業参観は中止 2/18 (金)
 - ・1,2年生学年末テスト2/22 (火)～25 (金)
 - ・**県立一般選抜試験 3/8 (火)、9 (水)**
 - ・**県立高校一般選抜試験合格発表 3/15 (火)**
 - ・令和4年度 始業式、着任式 4/6 (水)
 - ・1年生部活動体験 4/12 (火)～4/15 (金)
- ※新型コロナウイルス感染拡大の場合は変更の可能性あり
- ・**県立高校 一般選抜試験出願 2/21 (月)、22 (火)**
 - ・**佐賀北高校 通信制試験出願 3/2 (水)～3/15 (火)**
 - ・第75回卒業証書授与式 3/11 (金)
 - ・令和3年度 修了式・職員離任式 3/24 (木)
 - ・令和4年度 中原中学校入学式 4/11 (月)
 - ・家庭訪問は昨年同様、家の場所確認 ※仕事を休まれる必要なし (面談希望の場合、別途対応しますので、担任に相談してください。)